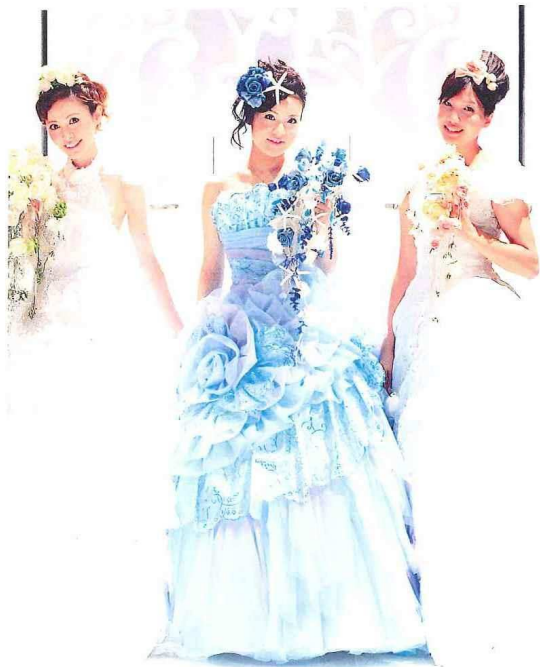


ブライダルフラワープロデューサーとして  
いま、KAORUKOは新たなステージへ



アートの花  
「KAORUKOフラワー」  
デビュー!

2011年もうひとつ誕生したのが、KAORUKOさんがプロデュースしたアーティフィシャルフラワー。ひらひらと揺れてキラキラと輝くこの花は、高級感に溢れてエレガント。アレンジはもちろんコーサージュやヘッドアクセサリーにも。

KAORUKOブランドから  
「大人Cawaiiブーケドレス」を発表!

フラワーアーティストの枠にとどまらないKAORUKOさんは、2011年、オリジナルのウェディングドレスを発表しました。彼女のデザインしたドレスは、今や世界語となった「かわいい」を上品に表現。花やリボンといった女性が大好きなアイテムを散りばめ、ブーケやヘッドドレスとのトータルコーディネートで魅了します。



ドレスにつけたものと同じアートのバラを、ブーケとヘッドドレスにも使っています。これぞフラワーアーティストKAORUKOが提唱する、三位一体スタイル。

KAORUKOブランドのドレスは、どれも花をモチーフにしているのが特徴。バラをイメージした立体的な布の花が、異つ赤なドレスを印象的に彩ります。

「目の前のことに  
懸命に、純粋に  
取り組むことで  
点が線になり、  
世界へとつながる」

主婦業のかたわら花教室を開いていたKAORUKOさんは、そのセンスと先見性、信念によって道を切り開き、10年でパリの花を担当するまでになりました。結果、彼女は何十人ものスタッフを抱えて1日数十組のウェディングを手掛ける、超多忙な日々を送ることになります。当時の年商はざつと3億。テレビや雑誌の取材依頼も押し寄せ、バラエティ番組にまで引っ張り出されます。けれど、KAORUKOさんは現状に悩みを抱えていました。本当の夢の実現のためには

ときに「手放す」ことも必要

「スタッフに仕事を任せても、お客さまは「お金がかかってもKAORUKOさんの花がいい」とおっしゃるんです。そこで気づきました。デザインはマネできても、私はマネできない、と。有名になるとか組織拡大が私の目標ではない。お客さまひとりひとりに心を込め、大切にしようと思えました。おかしいと感じたらこれまで染いたのも手放す。この決断力も彼女の強みです。規模を縮小し、テレビ出演も自粛。すると、待つていたように海外からの誘いが舞い込むようになりました。中国を皮きりに上海、台湾と、訪れた各地でKAORUKOさんの花は熱狂的に迎えられる。オリジナルブランドも設立し、彼女は今やブライダルフラワー業界の先頭に立つ存在です。「私は目の前のことをただ無心に懸命にやってきました。とにかく続けていくことです。そのうちに点が線になり、世界にもつながるんだと思います」

KAORUKO ヒストリー

2011

台湾花博に招へいされる

アジア3大フラワーデザイナーのひとりとして北京のホテルより招待。「2010台北国際花卉博覧会(台湾花博)出演。出身の千葉県PRのため知事に同行し、台湾総督府のパーティでショー開催も。



2005

宝石の花、  
RUKOビジュを考案

18金やシルバーでできた花、RUKOビジュを発表。テレビ番組「ソロモンの王宮」に出演。KAORUKOさんの代名詞「揺れるブーケ」が(財)日本余暇文化振興会の認定講座となる。

2006

KAORUKO流  
テーマウエディング開始

シーズンごとにテーマを打ち出すブライダルショーが定番に。写真は「ロングパール&カラー水」。海外ブランドや日本を代表する音楽家などのコラボレーションも手掛け、花と音楽のエンターテインメントに挑戦。



2010

上海万博でショーを開催

南青山にブライダルハウス「KAORUKOハウス」をオープン。「2010年上海国際博覧会(上海万博)の日本産業館にてフラワーショーを開催。花を使ったエンターテインメントという新しい表現スタイルや、日本の現代文化「Cawaii」をコンセプトにした花とドレスが、中国のマスコミにも大評判に。



2007

マスコミから取材が殺到

テレビ番組「ズームイン!!SUPER」「ワイド!スクランブル」や雑誌などで活動が大きく取り上げられる。著名人とのトークショーにも参加。日本橋三越本店で個展を開催。



KAORUKOさんといえば、この揺れるブーケ。透明感があり、花嫁が歩むとしなやかに揺れます。

2009

杉山愛選手の  
引退セレモニーに  
揺れるブーケが登場

横浜開港150周年記念前夜祭「晩餐舞踏会」でフラワーショー。東京・パシフィック・オープン・テニストーナメント2009に揺れるブーケを持つ杉山選手の姿が世界に配信。



2008

東レ パン・パシフィック  
テニスで皇族の  
装花を担当

初めての国外セミナーを中国で開催。「東レ パン・パシフィック・オープン・テニストーナメント2008」に皇族方がご来臨の際、控室やロイヤルボックスの装花を担当する。



KAORUKO

ブライダルフラワープロデューサーの先駆者として、通算2万組のオリジナルウエディングを手掛ける。多くの女優や著名人の花を担当し、日本人で初めてパリのフラワーコーディネイトを担当。近年は上海万博、台湾花博などにも出演し、国外でも注目を集める。